

研究主題

研究主題：「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る
日本人の育成を目指す小学校教育の推進」

副主題：「一夢や志をもち 他者と協働して
主体的に新たな価値を創り出す子どもを育成する学校経営」

【趣 旨】

現代社会は、深刻さを増す少子化・高齢化、グローバル情勢の混迷、生成 AI などデジタル技術の急速な発展、気候変動に伴う自然災害の激甚化などにより、社会・経済の先行きに対する不確実性がかつてなく高まっている。めまぐるしい変化や不安定な社会が常態化する時代において、生涯にわたって主体的に学び続け、自らの人生を舵取りする力が必要とされている。

特に、「人生 100 年時代」の到来や労働市場の流動性の高まり、マルチステージの人生モデルへの転換に伴い、自分とは異なる他者の多様な価値観を受容し、対話を通して課題を発見・解決できる未来の担い手を育てる必要性が高まっている。

このような将来の予測が困難な時代においては、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら社会の様々な変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、民主的で持続可能な社会の創り手となるための資質・能力を育成することが求められている。

そのため、学校教育においては、一人一人の個性や興味・関心に応じ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「探究的な学びの質の向上」に向けた学びへの転換をより一層進める必要がある。そして、予測困難な社会の変化に主体的に関わり、多様な他者と協働して新たな価値を創造する人材を育む学校教育を推進しなければならない。

広島県では、次期「広島県 教育に関する大綱」が掲げる「一人一人が、生涯にわたって主体的に学び続け、多様な人々と協働して新たな価値を創造する人づくり」のもと、これまで推進してきた「学びの変革」をさらに加速させることが求められている。子どもたちが自らの夢や志に向けて挑戦し学び続けられるよう、地域等の多様な人々と協働し現実社会における課題の解決策を創造する主体的な学習活動を通して、「広島で学んだことに誇りを持ち、胸を張って『広島』、『日本』を語り、高い志のもと、世界の人々と協働して新たな価値（イノベーション）を生み出すことのできる人材の育成」を目指していく。

こうした中、校長には、確固たる教育理念と豊かな見識を持ち、未来を見据えた広い視野で学校を導くことが求められる。次期学習指導要領の方向性を踏まえ、将来の予測が難しい社会の中でも、志高く未来を創り出していくために必要な資質・能力を一人一人に確実に育む学校教育の実現に向け、リーダーシップを発揮し、柔軟に対応することが不可欠であり、次の2つの視点をもとに取り組むこととした。

- ・ 明確なビジョンを構築し、全ての教職員と共有するとともに、学習指導要領にある生きる力を踏まえ、学校の特色や多様化した地域の力、豊かな自然や里山などの地域環境を最大限に生かした独自の探究的なカリキュラムを構想し、カリキュラム・マネジメントを実施すること。また、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた、授業改善や「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実を図ること。
- ・ 家庭、地域社会、関係機関との緊密な連携・協働体制を構築するとともに、地域の教育力を生かした透明性の高い学校経営を実現すること。同時に教職員の働き方改革をさらに加速させるとともに、若手教員を含めた教職員一人一人が主体的に挑戦できる計画的・継続的な人材育成を通じて、それぞれの専門性と意欲を高め、次代の教育を担う活力ある学校組織を構築し、効果的に機能する体制を確立すること。

以上のことから、副主題を「夢や志をもち 他者と協働して主体的に新たな価値を創り出す子どもを育成する学校経営」と設定し、校長の果たすべき役割と指導性を究明しようとするものである。

【分科会】

- | | | | | |
|------------|-----------|---------------|-----------|-----------|
| (1)経営ビジョン | (2)組織・運営 | (3)評価・改善 | (4)知性・創造性 | (5)豊かな人間性 |
| (6)健やかな体 | (7)研究・研修 | (8)リーダー育成 | (9)学校安全 | (10)危機対応 |
| (11)社会形成能力 | (12)自立と共生 | (13)社会との連携・協働 | | |

<参考>

- ・中教審「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して（答申）」R3. 1. 26
- ・閣議決定「第4期教育振興基本計画」R5. 6. 16
- ・「教育基本法（平成18年法律第120号）第1条（教育の目的）」
- ・文科省「中教審 教育課程企画特別部会 論点整理」R7. 9. 25
- ・広島県「『次期 広島県 教育に関する大綱』（素案）」R8. 4. 17